

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	168	事業名	スポーツ交流ひろば（スポーツ開放）の運営委員会化の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	区立小中学校を活用し、区民にスポーツの場を提供するスポーツ交流ひろばについて、地域の実情に沿った柔軟な運営を行うため、運営委員会による運営を推進します。		
手段	区立学校の校庭・体育館・プールをスポーツの場として区民に開放しています。開放時には、指導員を配置し、実技指導及び利用者の安全確保に努めています。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
運営委員会 (自主運営校)	校	10	10	10	100%	10			11

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	13,169	14,225	12,695	13,676		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	13,169	14,225	12,695	13,676		
所要人員 B	0.70	0.70	0.70	0.50		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	4,964	4,827	4,827	3,405		
総経費 E=A+D	18,133	19,052	17,522	17,081		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
【成果】	23年度は区立小・中学校18校で開放を実施しました。直営校8校、自主運営校10校です。開放日数は延べ1513日、利用人数は延べ32,396人です。また、夏季休業期間を利用して、2校でプール一般開放を実施しました。開放日数は、延べ23日、利用人数は延べ1,810人です。なお、プール団体開放は、8団体で実施され、参加者は1,158人でした。	【成果】	23年度は区立小・中学校18校で開放を実施しました。直営校8校、自主運営校10校です。開放日数は延べ1,427日、利用人数は延べ30,542人です。また、夏季休業期間中に2校でプール一般開放を実施しました。開放日数は、延べ12日、利用人数は延べ1,240人です。プール団体開放は6団体で実施され、参加者は750人です。
【課題】	開放校及び種目の拡大について検討する必要があります。学校・運営委員会との連絡・調整を円滑に行う必要があります。地域住民等による自主運営化を推進し、区民との協働によるスポーツ事業を展開する必要があります。また、安定的に事業を運営するため、新たな指導員の確保が必要です。	【課題】	開放校及び種目の拡大について検討する必要があります。学校・運営委員会との連絡・調整を円滑に行う必要があります。安定的に事業を運営するため、新たな指導員の確保が必要です。
指標達成度		23年度	24年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	利用者が固定化し仲間同士の様な雰囲気がありますが、初めて利用するときに参加しにくい印象を受ける場合があるようです。節電対策等によりプール開放の開放日数が減ったことに対し、仕方がないがもっと開放してほしいとの要望がありました。（開放利用者）
②	スポーツ交流ひろば10校、プール開放2校で地域住民による自主運営を実施しています。指導員の高齢化が進んでいますが、新しく運営に参加する人が見つからない状況です。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
23年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 学校・運営委員会との連絡調整を円滑に行い、安定的な事業の運営を図ります。
		② 予算の増減内訳 プール開放日数変更・交流ひろば運営経費削減等による減（△549千円）
24年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 常勤職員2人×0.2+非常勤職員1人×0.1人 計0.5人
		④ 現状維持の理由 健康維持や定期的なスポーツの場であり、利用者の実施要望も高いです。
25年6月末		

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	169	事業名	スポーツ団体等協働事業
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>区内に拠点を持つプロスポーツ等団体や地域のスポーツ団体等との連携・協力体制を構築し、区民がより一層レベルの高いスポーツを身近に観戦できる機会を提供し、スポーツに関心が持てるようにしていきます。</li> <li>プロスポーツ等団体をはじめ、学校や地域のクラブチームなどとのふれあいの場を設けて、身近に接することができる環境をつくります。</li> </ul>		
手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>参画団体もつスポーツのノウハウやネットワークを活用し、専門的な知識を収集することに役立てます。</li> <li>相互協力協定を締結している団体等と協力して、事業を実施します。</li> </ul>		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
講習会	回	0	1	1	100%	1			1
教室	回	1	1	2	200%	1			1
観るスポーツ	回	1	1	3	300%	1			1

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	200	684	263	300		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	200	684	263	300		
所要人員 B	0.10	0.10	0.10	0.10		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	709	690	690	681		
総経費 E=A+D	909	1,374	953	981		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>サッカー教室では、レベルの高い練習方法を体験し、技術の習得に役立てました。</li> <li>読売巨人軍の区民感謝デーは、親子での野球観戦とグラウンドでのイベントゲームにより、スポーツを楽しめる機会を提供しました。</li> </ul>	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>23年度は、6事業を実施し、22年度の3倍の実績を残しました。</li> <li>元日本代表サッカー選手を講師に迎えた少年少女サッカー教室や読売巨人軍区民感謝デーをはじめ、セミナー、パブリックビューイングなど多様な事業を展開しました。</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体等とのスケジュール調整を早期から行い、計画的に実施する必要があります。</li> <li>スポーツ団体等との連携・協力により、スポーツ選手等とふれあえる事業の実施をさらに検討していきます。</li> <li>教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、大学や地元のクラブチームの試合等の情報を収集し、広く区民に情報提供していく仕組みを検討していきます。</li> </ul>	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体等との連携・協力により、スポーツ選手等とふれあえる事業の実施をさらに検討していきます。</li> <li>教育関係機関等との連携・協力体制を整備し、大学や地元のクラブチームとの事業を検討していきます。</li> </ul>
指標達成度		23年度	24年度
		A	A

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	東日本大震災に被災し、一時的に文京区に避難している子どもたちと保護者を野球観戦に招待する読売巨人軍との事業では、「選手とふれあい、貴重な体験ができました（参加者のアンケート）」などの感想が寄せられました。
②	平成23年度では、スポーツ推進委員や少年軟式野球連盟、少年サッカー連盟の協力にてセミナーや教室を実施しました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	スポーツ団体等との連絡・調整を行い、多様な事業の実施を行います。
		② 予算の増減内訳
24年6月末	現状維持	事業実施方法等の見直しによる減（△374千円）
		③ 所要人員の考え方
25年6月末		常勤職員1人×0.1 計0.1人
		④ 現状維持の理由
		著名なスポーツ団体、施設、大学があり、スポーツ資源に恵まれた環境を活かすことができます。

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	170	事業名	旧第五中学校体育館の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	旧文京区立第五中学校体育館の現有施設を継承し、区民のための区内3番目のスポーツ施設として開館するのにあたり、リニューアルに向けた整備を行います。		
手段	改修工事を行い整備するとともに、24年4月以降の管理運営を指定管理で行なうための選定準備等を行います。 また、地域住民団体等とも適宜協議検討を行い、開館へ向けて準備を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
改修工事・開館準備の進捗度	%		100	100	100%				
指定管理者選定の進捗度	%		100	100	100%				

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A		24,546	18,923			
特定財源		0	0			
一般財源		24,546	18,923			
所要人員 B		0.50	0.50			
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	0	3,448	3,448	0		
総経費 E=A+D		27,994	22,371			

4 評価			
事業の成果及び課題			
	23年度	24年度	25年度
【成果】		【成果】 平成23年7月末より改修工事を行い、平成24年2月末に竣工しました。 管理運営を行う指定管理者を選定し(応募6団体)、24年4月1日に開館しました。	【成果】
【課題】		【課題】 今後は、スポーツ施設としての周知及び利用者数の増加、施設設置の目的に沿った運営を行うよう指定管理者との連絡調整を図っていきます。 また、避難所としての施設でもあるため、防災課や近隣町会、指定管理者と調整が必要となります。	【課題】
指標達成度	23年度	24年度	25年度
		A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①駐車場を広くしてほしい、空調を入れてほしい。(スポーツ団体内覧会時アンケート) 災害時は避難所としてどの部屋が使えるのか。鍵はもらえるのか。どこに避難物資があるのか。(内覧会/避難所運営協議会)
②体育館で実施する事業について区内のスポーツ団体に運営の協力依頼を行い、一般公開事業の指導に協力してもらったことになりました。今まで実施していない種目を導入することができました。

6 今後の方向性		
時点	方向性	
23年6月末	現状維持	① 事業の展開内容
		② 予算の増減内訳
24年6月末	終了確定	③ 所要人員の考え方
		④ 現状維持の理由
25年6月末		

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	171	事業名	(仮称) 新総合体育館の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	文京総合体育館建設基本構想		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	老朽化した総合体育館を建て替えることにより、より多くの区民がスポーツに親しむことができ、身近な場所で健康づくり・体力づくりができるようになります。		
手段	区民参画により策定した総合体育館建設基本構想に基づき、設計を行い総合体育館を建て替えます。なお、設計業者は公募型プロポーサルにより選定しました。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
建設工事進捗度	%		30	13	44%	100			
初度調弁整備の進捗度	%		55	35	64%	100			
開館の準備業務の進捗度	%		10	10	100%	90			100

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	81,492	174	152	51,129		
特定財源	0	0	23,873	0		
一般財源	81,492	174	-23,721	51,129		
所要人員 B	1.03	0.50	0.50	0.70		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	7,269	3,448	3,448	4,766		
総経費 E=A+D	88,761	3,622	3,600	55,895		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>区民説明会、紛争予防条例関連建設工事説明会、公聴会や関係団体への説明等を実施しました。</li> <li>新総合体育館建設予定地（四中跡地）の埋蔵文化財発掘調査を終了しました。</li> <li>基本・実施設計を策定しました。</li> </ul>	【成果】	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事が滞りなく行われるよう、関係各課・工事業者等との打合せを定期的に行いました。</li> <li>文京区体育協会やスポーツ推進委員、町会等関係団体に対して、定期的に設計内容や工事の進捗状況等の報告を行いました。</li> </ul>
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設工事が滞りなく行われるよう、関係各課・工事業者等との打合せを定期的に行う必要があります。</li> <li>初度調弁整備など、開館にむけての準備を進める必要があります。</li> <li>区民の要望も取り入れた運営を目指し、指定管理者と十分な協議を行うとともに、文京区体育協会や体育指導委員など関係団体との連携をとっていく必要があります。</li> </ul>	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、初度調弁整備など、開館にむけての準備を進める必要があります。</li> <li>区民の要望を取り入れた運営を目指し、引き続き、指定管理者と十分な協議を行うとともに、文京区体育協会や文京区スポーツ推進委員など関係団体と連絡をとっていく必要があります。</li> </ul>
指標達成度		23年度	24年度
		A	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①「2階更衣室のシャワーの数を増やしてほしい」「アリーナの照明はプレーに影響の出ないような配列、明るさにしてほしい」等（文京区体育協会加盟団体からの要望）
②文京区体育協会等への説明を行い、意見聴取を行った。今後も、文京区体育協会やスポーツ推進委員など関係団体との協議・連携を図り、より区民の要望にあった体育館運営を目指していきたい。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	平成23年度は杭工事に時間を費やしたが全体工程としては概ね順調である。平成25年度オープンを目指し開館準備等を進めていく。なお、初度調弁の進捗度については、竣工時期等を考慮すると24年度までに完了することは難しく、当初計画から変更しています。
24年6月末	拡充	② 予算の増減内訳 光熱水費の減（40千円）、時間外勤務手当の増（115千円）、普通旅費の減（4千円）、備品購入費の増（初度調弁）（37,254千円）、一般需用費の増（初度調弁）（12,853千円）、一般委託費の増（777千円）
25年6月末		③ 所要人員の考え方 常勤3人×0.2 非常勤1人×0.2×0.5 計0.7人
		④ 現状維持の理由

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	172	事業名	2013年東京国体開催準備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	【小項目】 スポーツ施設		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	地域スポーツの振興と区民の健康増進、体力向上を図り、併せて地域の活性化を目指します。		
手段	23年度に設立した文京区実行委員会を中心にスポーツ祭東京2013文京区競技の開催に向けて準備を進めています。本年度は各競技本番を想定したリハーサル大会を実施し、本大会成功のための課題や問題点を検証します。また、様々なイベントにてPR活動を行い、多くの区民の来場を促していきます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
小石川運動場グラウンド改修工事進捗度	%	20	100	100	100%				
リハーサル大会開催準備進捗度	%	10	40	40	100%	100			
国民体育大会開催準備進捗度	%	15	35	35	100%	60			100

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	151,129	803,593	805,229	32,115		
特定財源	0	326,780	326,780	14,330		
一般財源	151,129	476,813	478,449	17,785		
所要人員 B	0.33	1.70	1.70	2.40		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	2,305	11,722	11,722	16,342		
総経費 E=A+D	153,434	815,315	816,951	48,457		

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
<b>【成果】</b> ・小石川運動場グラウンド改修工事について、工事説明会や関係団体への説明等を実施しました。 ・社会資本整備総合交付金の申請を行いました。 ・平成22年12月に小石川運動場改修工事を着工しました。 ・工事関係者と定期的に打ち合わせを行っています。	<b>【成果】</b> ・小石川運動場グラウンド改修工事が予定通り竣工、備品・物品搬入やグラウンド運営など、オープンに向け最終的な準備をしています。 ・スポーツ祭東京2013開催に向け、21の団体により文京区実行委員会を設立し、開催に向けた準備を進めています。	<b>【成果】</b>		
<b>【課題】</b> ・小石川運動場オープニングイベントや予約システムの準備など、オープンに向けての準備を進める必要があります。 ・国体実施に向けて、実行委員会を設置する等の準備を進めるとともに、文京区体育協会や体育指導委員等の関係団体と連携をとっていく必要があります。	<b>【課題】</b> ・本年度開催のリハーサル大会、及び来年度開催の本番に向けて、文京区実行委員会を中心に、関係団体と連携をとりながら、引き続き準備を進めていく必要があります。 ・区では馴染みのないレスリング競技の会場設置も含め、どのように運営・周知していくか。また、国体全体の効率的なPR方法等について協議・検討していく必要があります。	<b>【課題】</b>		
<b>指標達成度</b>		23年度	24年度	25年度
		A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①「それぞれの大会で人員はどれくらいを見込めるのか。」「多数の来場者があることで会場周辺のごみ問題が起こらないよう注意してもらいたい。」（文京区国体実行委員会）
②区を含めた21の団体による文京区実行委員会での運営、大会運営ボランティアの募集、会場地周辺環境美化活動への参加、ゆりーとダンス指導者派遣等の区民参画を計画します。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	文京区における国体の準備組織である文京区国体実行委員会を中心に、開催される競技会の円滑な運営を図る。
24年6月末	拡充	<b>② 予算の増減内訳</b> 時間外勤務手当（実行委員会・大会等）の増（265千円）、旅費（視察）の減（△56千円）、需用費（スポーツセンター電球）の増（1,931千円）、委託費（小石川オープニングイベント）の増（400千円）、委託費（アドバイザー、設計）の減（△1,582千円）、実行委員会補助金の増（27,935千円）
		<b>③ 所要人員の考え方</b> 常勤3人×0.7 非常勤1人×0.6×0.5 計2.4
25年6月末		<b>④ 現状維持の理由</b>

# 平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	173	事業名	スポーツ指導者の育成と活用
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		スポーツ振興
個別計画	【小項目】		
	指導者育成		
所管	アカデミー推進部	スポーツ振興課	
目的	スポーツ推進委員・スポーツリーダー及び区内スポーツ団体の指導者に対し、研修会や講習会を実施し、専門技術や指導力の強化を図っていきます。区内のスポーツクラブ、地域住民のスポーツ団体等に技術向上のための支援を行い、地域スポーツの振興を図ります。		
手段	スポーツ指導者の資質向上のため、専門技術・メンタルトレーニング・指導方法・安全管理等の講習会を開催します。スポーツ団体等に実技指導員（スポーツ推進委員またはスポーツリーダー）を派遣します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
指導者講習会	回	1	2	2	100%	2			2
地域派遣	単位	139	190	116	61%	200			210

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	557	682	479	667		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	557	682	479	667		
所要人員 B	0.10	0.10	0.10	0.20		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	709	690	690	1,362		
総経費 E=A+D	1,266	1,372	1,169	2,029		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度	24年度	25年度	
【成果】 22年度は、体育指導委員の意見・要望を取り入れ、キネシオテーピング講習会を実施し59名の参加がありました。46団体（12種目）から、体育指導委員63単位、スポーツリーダー76単位、計139単位の派遣依頼がありました。	【成果】 23年度は、スポーツ推進委員の意見・要望を取り入れ、上級救命講習会及び障害者スポーツをテーマにした講習会を実施しました。参加者数は延べ53名です。延べ37団体（10種目）から、スポーツ推進委員64単位、スポーツリーダー52単位、計116単位の派遣依頼がありました。	【成果】	
【課題】 指導者も年齢層が高くなり、若手の指導者育成や地域におけるスポーツの人的資源の掘り起こしが必要です。指導者派遣は、依頼してくる団体が毎年決まっているため、多くの団体に活用していただくよう、積極的な広報が必要です。	【課題】 指導者の資質向上と、若手の指導者育成が必要です。指導者派遣は依頼してくる団体や種目が固定化しており、制度を広く周知し、利用団体を増やすことが必要です。	【課題】	
指標達成度	23年度	24年度	25年度
	B	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①参加者に応じた指導をしてくれる、丁寧に教えてくれる、技術の向上に役立つのでこういう制度は続けてほしい。（派遣依頼団体）
②指導者講習会の企画・運営はスポーツ推進委員と協力して実施しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	指導者講習会は23年度に引き続き、障害者スポーツをテーマに開催します。また、指導者派遣の活用を図るため、広報します。
24年6月末	拡充	② 予算の増減内訳 実績による派遣回数への減による報償費の減等（△15千円）
25年6月末		③ 所要人員の考え方 常勤職員1人×0.1+非常勤職員1人×0.1人 計0.2人
		④ 現状維持の理由